

【事例シートの読み方に関する解説】 ※事例により、記載内容等が異なることもあります。

1 ページ目：取組内容、事業展開に関するストーリー

事業展開に関するポイントや、事業者が考える今後の展開などについて、写真や図を交え、できるだけ VOC に関する専門知識のない方でも理解できるよう、VOC 削減の方法・システムの導入・活用プロセスやストーリーについて整理しています。

- 事業所名、事業概要
- 取組効果・ポイント
- VOC 排出抑制をめぐる課題、取組のきっかけ
- 自主的取組の目標や方向性
- 取組を軌道に乗せるためのポイント
- 取組効果、今後の展開

2 ページ目：VOC 排出抑制技術・システム等の解説、自主的取組のポイントなど

VOC 排出抑制の技術・システムに関する全体像やポイントとなる設備等の解説、VOC 排出抑制の自主的取組のポイント、事業者の環境配慮への想いなどを整理しています。

- VOC 排出抑制における取組や導入設備の概況
- VOC 排出抑制の自主的取組のポイント、取組がもたらす効果
- 持続可能な会社や社会の未来に向けた担当者のメッセージ
- 事業者プロフィール

VOC 排出抑制における取組や導入設備の概況
(導入・運用されている技術・システムの全体像やフローのイメージなど、技術面について解説)

VOC 排出抑制の自主的取組のポイント、取組がもたらす効果
(「自主的取組のポイント」とその「取組がもたらす効果」について各事例において実践している内容を整理)

事業所名、事業概要など

自主的取組の目標や方向性の設定
取組を軌道に乗せるためのポイント
(VOC 排出抑制の自主的目標やそれを達成するための工夫など)

1株式会社マツイ印刷【福井県勝山市】

「グリーンプリンティング認定など、環境に配慮した新しい取組に挑戦する小さな印刷工場」

① VOC 削減

② 環境配慮型印刷

③ 人材育成

④ 社会貢献

⑤ 持続可能な事業展開

● 環境配慮型印刷工場に付与される「グリーンプリンティング認定」を、福井県で第1号に取得。自社の取組を再確認しながら申請書を作成し、現地審査の際に審査員からアドバイスを得て見直しを図る。

● 社長自ら企業ビジョンや VOC 排出抑制にかかる作業工夫を従業員へ丁寧に訴求し、共通認識を得る。

● 環境配慮型印刷工場として、行政関係や首長など他地域での受注や引き合いが増加。

① VOC インキ、低 VOC 洗浄剤等の採用による排出削減

② LED-UV 印刷の全面採用による電力使用削減

③ 若い人材や女性の採用及び定着

④ 環境配慮型印刷工場として新たな受注・引き合いが増加

● 環境配慮型印刷工場に付与される「グリーンプリンティング認定」を、福井県で第1号に取得。自社の取組を再確認しながら申請書を作成し、現地審査の際に審査員からアドバイスを得て見直しを図る。

● 社長自ら企業ビジョンや VOC 排出抑制にかかる作業工夫を従業員へ丁寧に訴求し、共通認識を得る。

● 環境配慮型印刷工場として、行政関係や首長など他地域での受注や引き合いが増加。

① VOC インキ、低 VOC 洗浄剤等の採用による排出削減

② LED-UV 印刷の全面採用による電力使用削減

③ 若い人材や女性の採用及び定着

④ 環境配慮型印刷工場として新たな受注・引き合いが増加

● 環境配慮型印刷工場に付与される「グリーンプリンティング認定」を、福井県で第1号に取得。自社の取組を再確認しながら申請書を作成し、現地審査の際に審査員からアドバイスを得て見直しを図る。

● 社長自ら企業ビジョンや VOC 排出抑制にかかる作業工夫を従業員へ丁寧に訴求し、共通認識を得る。

● 環境配慮型印刷工場として、行政関係や首長など他地域での受注や引き合いが増加。

VOC 排出抑制をめぐる課題、取組のきっかけ

事業継承を進める中で、企業の魅力づくりの一環で環境配慮型印刷工場の特徴を打ち出し、グリーンプリンティング認定の取得に挑戦。

マツイ印刷は人口2万人強の小さなまち、福井県勝山市にある従業員13名の小さな印刷工場である。2000年頃より業界では早くネット印刷事業に参入することで、北海道から沖縄まで、日本全国に顧客を獲得している。2017年より3代目社長を務める松井朋樹さんは、事業継承するに当たり、企業の魅力づくりの一環として環境に配慮した取組への注力を決断。第一歩としてグリーンプリンティング認定に向けた取組を進めていった。

1983年に母が創業し、父が設立した会社ですが、父が早期に社長を退任した後は血縁関係のない従業員が、2代目を10数年務めました。2代目は、ネット印刷への早期参入、LED-UV印刷をはじめとする最新装置の導入など、先進的な取組を進めていき、付加価値の高いビジネスを牽引してきました。

私が事業継承を検討するようになった際に、新しい会社の特色を打ち出すものとして、入社してから製造現場で様々な経験を積む中で、これからは環境配慮型印刷工場として質を高めることが重要だと考えました。実現するに当たり、いろいろな認定制度を調べたところ、グリーンプリンティング認定は、当社で既に一定基準を満たしていることが確認できたので、トライしてみようと思いました。

自主的取組の目標や方向性の設定

グリーンプリンティング認定にかかる申請書作成を通じて、環境に配慮した取組を再確認。現地審査での審査員アドバイスで見直しを図る。

グリーンプリンティング認定は、日本印刷産業連合会が環境配慮型印刷工場に付与する認定制度で、使用する装置や各種溶剤などに加え、電気や水道の使用量、産業廃棄物の適正処理、騒音、災害時の避難経路など、あらゆる環境に配慮した取組を元に見直しされる。

同社では、取組を進めるための必要書類を収集・整理し、現地審査を経て2017年3月に認定を取得。取組における一連の取組は、環境配慮型印刷工場として取り組むべきことを見直す良い機会になったと思う。「申請書作成時は、行政関係に何度も足を運ぶなど必要書類を整えました。厚みのあるファイル3冊分にあふる資料を作成するのに半年ほどかかりましたが、取組の全体像を理解することができました。また、現地審査の際には、審査員から改善アドバイスもとても丁寧にいただき、取組の視点をすることもできました。」

その後、同社では2019年4月にクリオネマークにおけるゴールドクラスを取得している。

取組を軌道に乗せるためのポイント

限内業者の協力を得て、予算に見合った印刷資材・装置を購入。社長自ら従業員へビジョンや作業工夫を丁寧に訴求し、社内で共通認識を得

グリーンプリンティング認定やクリオネマークゴールドクラスを取得すると、それら認定基準に沿った環境配慮型印刷工場や資材の採用が必要となるため、それら取組によるコストアップや作業効率の低下が懸念される。同社では、コストアップについては、顧客へのサービス提供態様に反映しないよう、装置や各種資材のメーカーとのコーディネート役を担う社内業務にその思いを伝え、メーカーとの価格交渉や選定した製品の選定などを業務に任せることで、装置や資材の切り替えをスムーズに進めていった。

また、現場では、溶剤変更による洗浄機への対応、ノン VOC インキの使用による印刷スピードの低下などの課題が出てくる中で、社長自ら従業員に「これからは環境配慮型印刷会社として、全国のお客さんにアピールしていきたい。そのためには、新しい装置や資材を使っても作業効率を低下させないノウハウや工夫が必要だと感じ」というビジョンを伝え、理解を得た上で、対応策を従業員と社長が一緒になって模索していった。

取組効果、今後の展開

ノン VOC インキ、低 VOC 洗浄剤等への切り替えで VOC 排出量を削減。LED-UV 印刷の全面採用により、電気使用量の削減も達成。

同社では、VOC 排出量に関する情報は定量的には行っていないが、各種認定制度の取得を通じて、ノン VOC インキや有機溶剤非該当・P-RT 非該当の低 VOC 洗浄剤、非石油系溶剤の使用量を削減することで、VOC 排出量の削減が大幅に実現し、排出量の削減につながっている。また、適切な排気に加え、従業員も換気システムやマスク、インキ入れの蓋閉めの徹底、定期的なメンテナンスによる作業現場でのルール確認等の取組を実践している。さらに、LED-UV 印刷の全面採用により、電気使用量の削減も達成している。

環境配慮型印刷工場など、新しい取組にも果敢にチャレンジしていく。

一連の取組を通じて、同社は環境配慮型印刷工場として評判が広がり、行政関係や首長や関係の企業などから新規受注が増えている。松井さんは、さらなる取組も模索している。

「最近、東京方面から見積依頼が突然来て、その仕様書にはグリーンプリンティング認定工場がほしいという記載がありました。また、グリーンプリンティングマークやクリオネマークの表示がほしいという問い合わせも増えてきています。」

今後は、VOC をどれだけ削減したかを見える化する必要があると考えており、測定器の購入や専門家への相談を検討しています。また、環境に配慮した取組として、新たな商品開発についても模索し、取り組んでいきます。

取組効果・ポイント

- ・取組のきっかけや工夫、効果、今後の展開を箇条書きで整理
- ・取組の概要、写真や図

取組効果、今後の展開
(環境負荷低減の状況やコストメリットなどの付加価値、今後さらに取り組んでみたいこと など)

VOC 排出抑制をめぐる課題、取組のきっかけ
(企業が抱えていた課題・ニーズ、VOC 排出抑制システムの提供者や技術等の出会い など)

「グリーンプリンティング認定など、環境に配慮した新しい取組に挑戦する小さな印刷工場」

VOC 排出抑制における取組や導入設備の概況

LED-UV 印刷機での印刷

工場内の様子。整理整頓されている。

入社1年目の従業員でも、印刷のオペレーターとして活躍している。

拭き始め

UVインキは拭いても大丈夫。開

拭き終わり

インキのホコリ(印刷機にインキを供給する装置)の清掃の様子。

LED(青色)で照らし、インキを乾燥させる様子。

その他の取組

電子レンジなど入れられる容器として、密着できる紙がタクトラックを採用している。

インクジェットプリント機でもLED-UV印刷を採用。フラスアップが印刷されている。

株式会社マツイ印刷【福井県勝山市】

VOC 排出抑制の自主的取組のポイント、取組がもたらす効果

自主的取組のポイント	取組がもたらす効果
取組の目標、方向性を考える	● VOC 削減効果
適切な設備、材料を選択する	● 環境負荷低減(省エネなど)
社内でしっかりと実践する	● コスト削減
社外の人間力を高める	● 健康な職場環境づくり
コストパフォーマンスを追求する	● その他
VOC 排出量を削減する	
日々の取組を積み重ねる	
補助金を活用する	
従業員教育、人づくりの充実	
高業、企業 PR を工夫する	

持続可能な会社や社会の未来に向けた担当者のメッセージ

「環境への配慮は、世界共通の課題であるのに加え、企業の魅力づくりにもつながります」

印刷には、ヒトのチカラがとても重要です。大企業のように採用コストをかけるのは難しいので、良い人材自ら望んで来てもらうためには、企業の魅力アップがとても重要だと思っています。現場に配属した取組は、魅力として競争が激化する印刷業界の中で企業の強みとして打ち出すものとして、また、世界共通の取組の推進として注力しています。

さらに、この数年で環境に配慮した取組ができるかどうかを重視するところが、より一層増えてきた印象を受けます。行政関係から受注した案件では、環境への配慮に関する取組状況を書類にまとめて提出することが増えています。

当社はネット受注が大半を占めており、顧客と密着してお会いすることが少ないので、ホームページでの情報発信にも注力しています。環境に関する一連の取組も、もっと上手に伝えられるよう工夫できればと考えています。(株式会社マツイ印刷 代表取締役 松井朋樹さん)

事業者プロフィール

企業名：株式会社マツイ印刷 設立：1983年

所在地：福井県勝山市南原町1丁目607-2 TEL：0779-88-0443

代表者：代表取締役 松井朋樹 従業員数：13名

事業内容：各種商業印刷(ネット印刷連動事業、カタログ・パンフレット等、ノベルティ・販促物の製作など)

HP：https://www.matsui-suyasan.com/

事業者プロフィール (企業概要の紹介)

持続可能な会社や社会の未来に向けた担当者のメッセージ
(事業者の環境配慮への想いなど)

各事例における用語の使用について

本事例集では多様な業種を掲載していることもあり、業界の慣例等によって用語の使い方が異なるものが一部ございます。具体的には下記があげられます。

- 業種によって「有機溶剤」、「石油系溶剤」など、表現が異なるが、本資料では、出来るだけその業種で一般的に使われている語句を使っている。
- VOC を若干含む材料等について、「VOC フリー」「ノン VOC」といわれることがある。